

(SDS)
安全データシート

SDS整理番号: 15000900

作成年月日: 2020年10月30日
改正年月日: 2021年08月08日

1、化学产品及会社情報

製品名 ステンレスコート P T Yタイプ (主剤) (硬化剤)
整理番号 15000900
会社名 株式会社テイクイン インターナショナル コーポレーション
住所 東京都中央区八丁堀4-11-10
TEL 03-3555-0720
FAX 03-3555-0617

2、危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 区分外
自然発火性液体 区分外
金属腐食性物質 区分外
健康に対する有害性
急性毒性(経口) 区分外
急性毒性(経皮) 区分外
急性毒性(吸入・蒸気) 区分外
皮膚腐食性・刺激性 区分外
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性 区分外
生殖毒性 区分外
特定標的臓器 全身毒性 単回暴露 区分外
" " " 区分外
特定標的臓器 全身毒性 反復暴露 区分外
吸引性呼吸器有害性 区分外
" " 区分外
環境に対する有害性 区分外
GHSラベル要素
絵表示又はシンボル 区分外

注意喚起語
危険有害性情報 特になし

注意書き
『安全対策』 特になし

『応急措置』 眼に入った場合、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
無理に吐かせないこと。

『保管』 漏出物は回収すること。
容器は密閉して涼しく換気の良いところに保管すること。

『廃棄』 内容物や容器を廃棄する場合は都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者へ委託すること。

3、組成及び成分情報

| | | | | | |
|------------------------|--|-------|-----|-------|--------|
| 化学物質 | | | | | |
| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 | | | | |
| 組成及び含有量 | | | | | |
| 化学名又一般名 | エポキシ樹脂及び金属箔粉顔料（主剤） 変性ポリアミン樹脂及び金属箔粉顔料（硬化剤） | | | | |
| 成分 | CASNo. | 濃度(%) | 労安法 | PRTR法 | 毒劇物取締法 |
| エポキシ樹脂（主剤） | 250688-38-6 | 60～70 | — | — | — |
| 金属箔粉顔料（主剤） | — | 30～40 | — | — | — |
| 変性ポリアミン（硬化剤） | 非公開 | 100 | — | — | — |
| 分類に寄与する不純物 及び安定化添加物 | データなし | | | | |

4、応急措置

| | |
|-----------|---|
| 皮膚に付着した場合 | 大量の水と石鹼を使用し十分に洗い落とすこと。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 |
| 眼に入った場合 | 目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上洗うこと。 コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。出来るだけ早く医師の診察を受けること |
| 飲み込んだ場合 | 誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示以外は、無理に吐かせないこと。 |

5、火災時の措置

| | |
|-----------------|------------------------|
| 消化剤 | 粉末消化薬剤、泡消化剤、二酸化炭素、砂、水。 |
| 使ってはならない 消化剤 | 特になし |

6、漏出時の措置

| | |
|---------------------------|---|
| 人体に対する注意事項 （保護具及び緊急措置） | 作業の際には適切な保護具（ゴム手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 回収・中和 | 環境中に放出してはならない。 漏出物は、おがくず、土、砂、ウエス等で吸着させ、密閉できる空容器に回収し、安全な場所へ移すこと。 付着物、廃棄物等は関係放棄に基づいて処理すること。 |

7、取扱い及び保管上の注意

| | |
|------------------------|--|
| 取扱い 技術的対策 | 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 取扱い後は、良く手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 | 排気や換気に注意する必要はない 特になし。 |
| 保管 安全な保管条件 容器包装材料 | 直射日光を避け、容器を密閉して保管すること。 子供に手の届かない所で保管すること。 他の容器に移し替えて保管しないこと。 |

8、 暴露防止法及び保護措置

| | |
|-------------------|-------------------|
| 管理濃度 | 特になし |
| 許容濃度 | _____ |
| 日本産業衛生学会 ACGIH | _____ |
| 設備対策 | 特に必要ない。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | 特に必要ない。 |
| 手の保護具 | 保護手袋を使用すること。 |
| 眼の保護具 | 保護眼鏡を使用すること。 |
| 皮膚及び 身体の保護具 | 必要に応じて保護衣を使用すること。 |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

9、 物理的及び化学的性質

| | | |
|------------------|-------------|-------------|
| 外観 | 銀灰色（主剤） | 銀灰色（硬化剤） |
| 臭い | 特にない。 | |
| pH値 | データなし | |
| 融点・凝固点 | データなし | |
| 沸点・初溜点及び 沸騰範囲 | 沸点 134℃（主剤） | 126℃（硬化剤） |
| 引火点 | _____℃（主剤） | _____℃（硬化剤） |
| 自然発火温度 | 534℃（主剤） | 514℃（硬化剤） |
| 燃焼性 | データなし | |
| 爆発範囲 | _____ %（主剤） | |
| 蒸気圧 | _____ | |
| 蒸気密度 | データなし | |
| 蒸発速度 | データなし | |
| 比重(25℃) | 3.56（主剤） | 1.92（硬化剤） |
| 溶解度 | 水に不溶 | |
| オクタンル・水分配係数 | データなし | |
| 分解温度 | データなし | |
| 粘度(25℃) | データなし | |

10、 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------------------|
| 安定性 | 通常の条件では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 特にない。 |
| 避けるべき条件 | 高温を避け、強酸化物質との接触を避けること。 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤、強酸類、ハロゲン類等の物質との接触を避ける |
| 危険有害な分解生成物 | 一酸化炭素、二酸化炭素の毒性のあるガス、蒸気の内容はない。 |

11、 有害性情報

| | |
|----------------|---|
| 急性毒性 | 経口 エポキシ樹脂 変性アミン樹脂 (国連GHS分類『区分外』) 経皮 エポキシ樹脂 変性アミン樹脂 (国連GHS分類『区分外』) 吸入(蒸気) 気化性ガスの存在はない。 (国連GHS分類『区分外』) |
| 皮膚腐食性 刺激性 | ヒトの皮膚に暴露しても刺激性は見られなかったとの記述 (国連GHS分類『区分外』) |
| 眼に対する 重篤な損傷 | (国連GHS分類『区分外』) |
| 呼吸器感受性 | 情報がなため分類できない。 |
| 皮膚感受性 | 情報がなため分類できない。 |
| 生殖細胞変移 | 原生 (国連GHS分類『区分外』) 生殖毒性(国連GHS分類『区分外』) 特定標的臓器(国連GHS分類『区分外』) |

特定標的臓器
全身毒性
(反復暴露) 『区分外』
吸引性呼吸器 『区分外』

1 2、環境影響情報 『区分外』

1 3、廃棄上の注意

残余廃棄物 関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、危険性、
有害性を告知して処理を委託すること。
汚染容器 及び包装 廃液及び洗浄排液を直接河川などに排出したり、そのまま埋め立て
たり投棄しないこと。
(参考) 燃焼法。珪藻土、おが屑等に吸収させて、アフターバーナー
及びスクラバー付き焼却炉にて焼却する。
容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基
準に従って適切な処分を行うこと。
空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

1 4、輸送上の注意

国際規制
海上規制情報 (IMO/IMDGコードの規定に従う。
該当なし。
航空規制情報 (ICAO-TI/IATA-DGRの規定に従う。
国内規制情報 陸上規制情報 (対象外)
海上規制情報 (対象外)
特別安全対策 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの
ないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。
緊急時応急措置 指針番号 該当なし

1 5、適用法令

労働安全衛生法
名称等を通知すべき有害物質 非該当。
毒物及び劇物取締法
消防法 非該当
化学物質排出
把握管理促進法 非該当。
港則法 非該当。

1 6、その他の情報

参考文献
化学物質管理促進法PRTR、MSDS 対象物質データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質データ 化学工業日報社
化学物質の危険有害便覧 中央労働災害防止協会
安衛法化学物質 化学工業日報社
化学物質安全性データ オーム社
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
GHS 分類F;結果データベース nite独立行政法人 製品評価技術基盤機構HP
GHS モデル SDS情報 中央労働災害防止協会安全衛生情報センターHP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも充分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。